

アンケート調査票

集落アンケート調査票…… 1

自治体アンケート調査票… 9

集落アンケート調査票

今日の九州圏では、急速な人口減少・少子高齢化の進展を始めとした社会情勢の変化により、地方の都市、離島、半島、中山間地域における生活活動の維持に対する懸念が広がっています。

このような中、昨年度は、九州内の全市町村を対象に、人口減少・高齢化の著しい地域の調査を実施し、農林地の荒廃や集落活動の停滞・脆弱化等、集落の厳しい実態を知ることができました。しかし他方では集落の持つ豊かな資源を活用した「都市と農村」の交流や、「伝統文化」の保全に向けた取り組み等の実態についても知ることができたところです。

そこで九州地方整備局では、特に中山間地域における小規模・高齢化集落の活力維持・向上に向け、“集落住民が安心して元気が出るくらしの実現”のための支援策を具体的に検討していくこととしており、今回、集落の活動等の実態を把握するためアンケート調査を行うこととしました。

つきましては、年末のお忙しい中、誠に恐れ入りますが、本アンケート調査にご協力いただきますようお願いいたします。

また、ご回答をいただきました方々には、「本アンケート調査の集計結果」及び「集落の存続・再生に向けた取り組みの資料」を送付させていただく予定です。

なお、本アンケート調査で得られた個人情報は、厳正かつ適正に保存・管理し、目的以外に使用いたしません。

※昨年度(H19)の調査結果は、国土交通省九州地方整備局のホームページから閲覧出来ます。<http://www.qsr.mlit.go.jp/suishin/02torikumi/index019.html>

- (1) アンケート回答期日：平成21年1月7日（水）
（取りまとめの都合上、極力早めのご返送にご協力ください。）
(2) 返送方法：同封の返信用封筒にてご返送下さい。

返送先：国土交通省 九州地方整備局 企画部 広域計画課

問い合わせ先

■調査委託会社

日本工営株式会社福岡支店
TEL : 092-475-7569
FAX : 092-475-4330
E-mail: a5566@n-koei.co.jp
担当 : 白石、^{ついで}對田

■発注元

国土交通省九州地方整備局
企画部 広域計画課
TEL : 092-476-3543
FAX : 092-476-3466
E-mail: tabata-h8910@qsr.mlit.go.jp
担当 : 田畑、田嶋

はじめに、回答者の方のご氏名、連絡先（電話番号・住所）、生年をお答え下さい。
（今後資料の送付の際に使わせていただきます。）

集落名					
ふりがな ご氏名		連絡先（電話）		生年	大正・昭和 年 生まれ
ご住所					

■集落の住民共同活動の実態について

質問1 集落の住民が共同で行う活動についてお聞かせください。《それぞれの項目について、あてはまるものに○をしてください》また、その「主な要因」について下の「選択肢」より最も合うものを一つだけ選んで記号（カタカナ）を記入してください。なお、「以前」とは「戦後（昭和20年以降）、この集落に最も多く人が住んでいた頃」とお考え下さい。

	以前は行なわれていたが、 現在は行なわれなくなった	以前から行なわれていない	以前から現在まで引き続き 行なわれている	最近になって行なわれる ようになった	主な要因 (下の選択肢から1つ)
(例) お花見会の開催	1	②	3	4	イ
1) 荒廃農地の共同維持管理	1	2	3	4	
2) 農作業の手間がえ・結い	1	2	3	4	
3) 集落共有の山林・牧野の共同作業	1	2	3	4	
4) 集落道の草刈などの共同作業	1	2	3	4	
5) 用水路の清掃などの共同作業	1	2	3	4	
6) 神社・仏閣・墓地の維持管理	1	2	3	4	
7) 集会所・広場等の維持管理	1	2	3	4	
8) 集落内での葬儀の実施	1	2	3	4	
9) 集落内での祭り	1	2	3	4	
10) 伝統芸能の継承活動	1	2	3	4	
11) 運動会や旅行などレクリエーションの実施	1	2	3	4	

主な要因の「選択肢」

ア. 特に理由はない イ. 人口の減少 ウ. 人口の高齢化 エ. 農外就労の増加
オ. 農林業の低迷 カ. 役場や農協、普及所などの助言・指導、支援 キ. 民間組織の支援

質問2 集落の住民が共同で行う活動の重要性についてお聞かせください。
 次にあげるような活動や支援は、現在のこの集落にはどの程度重要と思われますか。《それぞれの項目について、あてはまるものに○をしてください》

	まったく重要でない	あまり重要でない	どちらともいえない	やや重要である	たいへん重要である
(例) お花見会の開催	1	2	3	④	5
1) 荒廃農地の共同維持管理	1	2	3	4	5
2) 農作業の手間がえ・結い	1	2	3	4	5
3) 集落共有の山林・牧野の共同作業	1	2	3	4	5
4) 集落道の草刈などの共同作業	1	2	3	4	5
5) 用水路の清掃などの共同作業	1	2	3	4	5
6) 神社・仏閣・墓地の維持管理	1	2	3	4	5
7) 集会所・広場等の維持管理	1	2	3	4	5
8) 集落内での葬儀の実施	1	2	3	4	5
9) 伝統芸能の継承活動	1	2	3	4	5
10) 集落内の寄り合いや話し合いの活性化	1	2	3	4	5
11) 他の集落との連携	1	2	3	4	5
12) 外部の人や団体からの支援受け入れ	1	2	3	4	5
13) 他出家族・親族とのきずな強化	1	2	3	4	5
14) 訪問介護や宅配弁当などのサービス受け入れ	1	2	3	4	5
15) 直売活動や交流活動の取り組み	1	2	3	4	5
16) 住民の「足の便」の確保	1	2	3	4	5
17) 行政と一緒に取り組む地域づくり活動	1	2	3	4	5

■集落の実態について

質問3 現在お住まいの集落への、今後の居住意向についてお聞かせください。
《以下の選択肢から1つ選び、○をしてください》

- ① 今後とも住み続けたい
- ② 状況によっては離れざるをえない
- ③ 近い将来、子供たちのところなど、集落を離れるつもりである
- ④ その他（具体的に； _____）

質問4 今後居住を継続する上での不安は何ですか。
《それぞれの項目について、あてはまるものに○をしてください》
また、1)～15)の項目において、特に不安に感じられる項目3つに○をして下さい。

	大いに不安	不安	やや不安	不安は感じない	不安に感じる 上位3つに○
1) 医療施設が遠い（医療サービスを受けにくい）	1	2	3	4	
2) 福祉施設が遠い（福祉サービスを受けにくい）	1	2	3	4	
3) 地域行事を営むことができなくなっている	1	2	3	4	
4) 共同作業を営むことができなくなっている	1	2	3	4	
5) 鳥獣被害等が増加している	1	2	3	4	
6) 山林、田畑の管理がままらなくなっている	1	2	3	4	
7) 日用品・食料品の買い物が出来る店が遠い	1	2	3	4	
8) 近くに働く場が無くなってきている	1	2	3	4	
9) 隣近所の付き合いが減ってきている	1	2	3	4	
10) 日常の移動手段がなくなっている	1	2	3	4	
11) 土砂崩れ、崖崩れ等の発生の危険性が高い場所がある	1	2	3	4	
12) 災害時の避難活動が困難になってきている	1	2	3	4	
13) 災害により集落が孤立する	1	2	3	4	
14) 郵便局や農協が近くになく、預貯金の出し入れが困難	1	2	3	4	
15) その他（具体的に； _____）	1	2	3	4	

質問5 今後居住を継続する上で必要なものは何と考えられますか。
 《それぞれの項目について、あてはまるものに○をしてください》
 また、その中で最も重要であると思う項目に一つ○をして下さい。

	とても必要	必要	やや必要	不必要	目 一 つ に ○ 最も重要な項
1) 集落内の相互扶助	1	2	3	4	
2) 周辺集落の協力	1	2	3	4	
3) 他出者(集落の外に出て行った家族や親族等)の協力	1	2	3	4	
4) 集落外の支援者(住民ボランティア、住民団体、企業、NPO、専門家、大学生等)の協力	1	2	3	4	
5) 国や自治体の支援・協力	1	2	3	4	
6) その他(具体的に)	1	2	3	4	

質問6 集落内もしくは近隣に、あまり人に知られてはいないが地域として誇るべき資源(風景、自然林、湧水、清流、寺社・ほこら等)がありましたら、お聞かせ下さい。(いくつでも)

資源名称	特 徴
<hr/> <hr/>	<hr/> <hr/>

質問7 集落内もしくは近隣に、今後活用可能な資源(遊休地、耕作放棄地、空き家、廃校、管理されない共有林等)がありましたら、お聞かせ下さい。(いくつでも)

資源名称	特 徴
<hr/> <hr/>	<hr/> <hr/>

質問8 集落の山林に山菜など山の幸はありますか。もしくは海岸に海草・魚介類など海の幸はありますか。

《以下の選択肢から1つ選び、○をしてください》

また、食材（料理も含む）がある場合にはその内容を具体的にお聞かせ下さい。

- ① 販売可能なほどの食材がある
- ② 集落家庭内で食するほどある
- ③ ない

①または②のいずれかを選ばれた方は下記（ ）内に食材の内容を記入下さい（いくつでも）

食材（料理）の内容

--	--

質問9 子孫に伝え、残したい伝統・文化や芸能、風習などがありましたら、お聞かせください。（いくつでも）

伝統・文化や芸能、風習の名称

特 徴

<hr/>
<hr/>

<hr/>
<hr/>

質問10 集落に居住する人たちの元気を呼び戻すための取り組みの状況、意向についてお聞かせ下さい。

《以下の選択肢から1つ選び、○をしてください》

- ① 既に取り組みを実施している
- ② 取り組みに向けて集落内の話し合いをしたい
- ③ 周辺集落と協力して取り組みたい
- ④ 他出者(集落の外に出て行った家族や親族)と協力して取り組みたい
- ⑤ 集落外の支援者(住民ボランティア、住民団体、企業、NPO、専門家、大学生等)と協力して取り組みたい
- ⑥ 今のところ取り組む気はない

集落に居住する人たちの元気を呼び戻すための取り組みのイメージ

集落に居住する人が地域に賦存する資源を活かして、域外の人々と交流するなど、元気を呼び戻していくための取り組み。又は、域外との連携や支援も受けつつ、住み続けていく上での不安を解消するための取り組み。

集落にある珍しいもの(祭り、花、生物、名水、遺跡)を活用して都市住民と交流したい

農地や山林の荒廃を食い止めたい

空き家を活用して他の地域の人たちに自分たちの暮らしを体験させたい

自分の家の自慢の品を持ち寄って朝市を定期的にかきたい

昔やっていた祭り・芸能を出て行った人たちも呼んで開催したい



質問11 質問10で①～⑤を回答した人にお聞きします。現在取り組んでいる内容及び今後取り組みたいことをなるべく具体的にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

自治体アンケート調査票

- (1) アンケート回答期日：平成20年12月26日（金）
- (2) アンケート回答者：高齢化・人口減少問題に取り組まれている担当課長
- (3) 返送方法：同封の返信用封筒にてご返送下さい。

返送先：国土交通省 九州地方整備局 企画部 広域計画課
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
福岡第二合同庁舎

問い合わせ先

■調査委託会社

日本工営株式会社福岡支店
TEL : 092-475-7569
FAX : 092-475-4330
E-mail: a5566@n-koei.co.jp
担当 : 白石、對田ついで

■発注元

国土交通省九州地方整備局
企画部 広域計画課
TEL : 092-476-3543
FAX : 092-476-3466
E-mail: tabata-h8910@qsr.mlit.go.jp
担当 : 田畑、田嶋

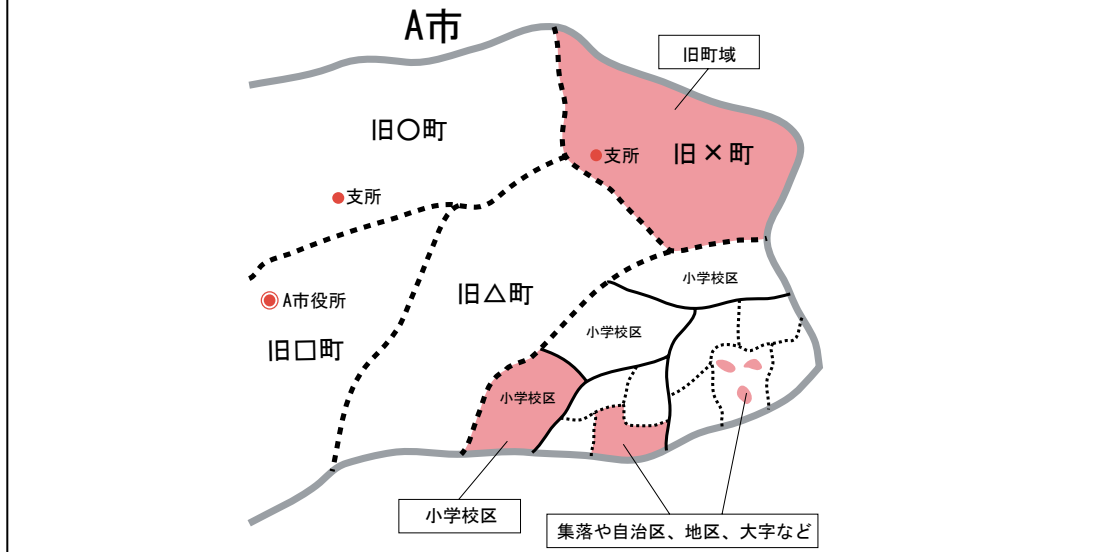
はじめに、回答者の方のご氏名、部署名等をお書きください。（参考に昨年度アンケートにご協力いただきました、担当者の方の氏名・部署を記入しております。）

記入項目	H19 年度アンケート記入担当者	H20 年度アンケート記入担当者
自治体名		
部署名		
役職		
氏名		
電話番号		
FAX 番号		
e-mail		

質問 1. 集落の生活機能の実態について、集落現況調査票（次頁）の該当する番号に○をして下さい。なお、集落の考え方は昨年度調査と同じです。
また、貴市町村にてお答えいただいた「集落単位の考え方」として、以下の選択肢から1つ選び、○をつけてください。（昨年度調査でもお聞きしましたが、再度お願いします。）

- ① 町丁目・大字などの住所表示で指定
- ② 自治区、地区、小学校区など、一定の規模で指定
- ③ 市町村合併前の行政区(旧町域・村域)で指定
- ④ その他()

※「集落」とは、一定の土地に数戸以上の社会的まとまりが形成された、住民生活の基本的な地域単位であり、市町村行政において扱う行政区の基本単位（農業センサスにおける農業集落とは異なる）として下さい。
(H18.6月実施「過疎地域等における集落の状況に関するアンケート調査（国土交通省国土計画局総合計画課、総務省自治行政局過疎対策室）」と同定義)



以下集落名称が記載されている調査票毎に記載してください。

(集落名称に、“－”ハイフンが記載されている集落については記載の必要はありません)

集落現況調査票① (集落名称：)

質問項目		回答選択肢 (該当する回答一つに○をして下さい)					
集落の 類型	対象集落の類型 ※下記の集落類型区分の 解説をご参照下さい。	1	中心集落	2	基幹集落	3	基礎集落
	集会場施設の有無 (空施設含)	1	有(健全)	2	有(要修繕)	3	無し
対象集落の 交流・ コミュニ ティ	学校施設の有無	1	有り	2	建築物や敷地の残っている廃校有 り	3	無し
	集落にて寄り合い等に利 用可能なその他公共施設 の有無 (空施設含)	1	有(健全)	2	有(要修繕)	3	無し
	交通インフラの整備状況	1	片側1車線(両2 車線)以上の幅員 の道路が整備済	2	狭隘な道路(離合可能)	3	狭隘な道路(待 合離合)
対象集落の 生活サー ビス	ブロードバンドの整備状 況	1	集落内整備済	2	集落内は整備されていないが、自治 体内では整備地域有	3	整備無し
	携帯電話の通話圏域	1	問題なく通話で きる	2	一部通話に不通箇所あり	3	通話は困難
	介護・福祉訪問サービスの 担い手	1	有(集落内にい る)	2	有(域外も含め集落外からのサー ビス)	3	無し
	福祉機能(施設)の状況	1	福祉施設が徒歩 圏内にあり	2	福祉施設への送迎サービスあり	3	無し
	公共交通の運行状況	1	有(5便/日以上)	2	有(5便/日未満)	3	無し
	商業機能(施設)の状況	1	店舗(雑貨屋等) あり	2	移動販売あり	3	無し(車等で買 い出し)
	医療機能(施設)の状況	1	病院・診療所(医 者常駐)あり	2	巡回医療あり	3	無し(救急車か 車で搬送)
	小学校の状況	1	1km 圏徒歩通学可 能	2	4km 圏1時間以内の徒歩通学	3	バス等交通手 段が必要

※ 三択設問については回答欄の該当する番号一つに○をつけてください。

※ 回答は集落毎にお願いいたします。

《集落類型区分の解説》

※集落の類型区分については、明確な定義はないが、ここでは以下のように分類します。

中心集落：地域の中心的な集落であり、古くから地域の要所となっていたため、役場等の行政機関や事務所等が集積する。

基幹集落：基礎集落の分布の中にあつて、住民の日常生活上、集落間の要となつて存続している集落であり、主として谷筋の分岐点やその他バス停留所があるなど交通上の要所で、日常的な買い物ができるような商店も立地している(あるいはかつては立地していた)地域に分布する。

基礎集落：地域社会を構成する最も基礎的かつ原単位的な集落であり、いずれの地域にも広く分布する。

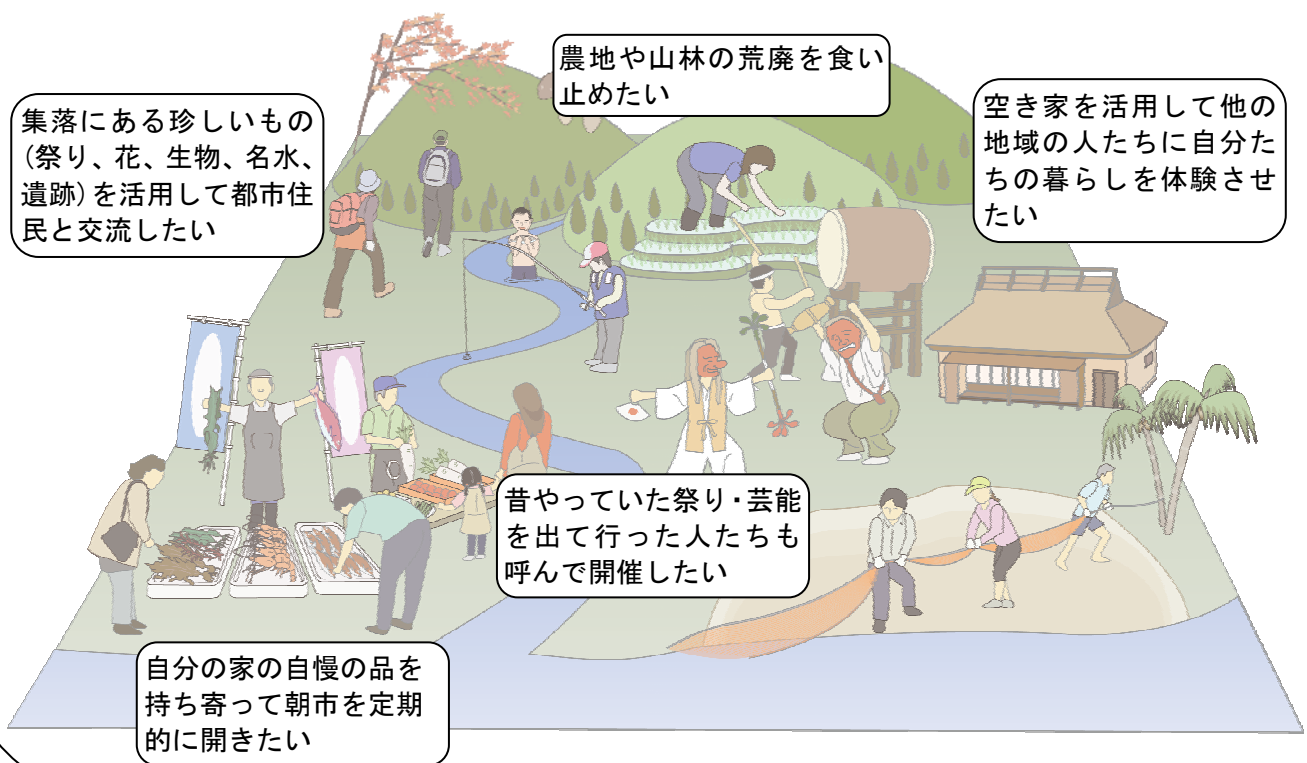
(本アンケートでは、中心集落、基幹集落以外のものは、これに分類)

質問2. 対象集落の代表者の方々に「集落元気づくり」の意向についてお伺いしています。もし、貴市町村の対象集落から同取り組みの意欲が示された場合、どのような協力が可能ですか。以下の選択肢の中であてはまるものに○をつけてください。
(複数回答可)

- ① 対象集落の取り組み意欲が確認された場合は、職員の派遣等協力が可能である
- ② 取り組みを支援できる組織(住民団体・事業者等)を紹介することが可能である
(団体名:)
- ③ 対象集落の取り組み意欲やその他集落情報の共有化を図りたい
- ④ 協力することは困難である

「集落元気づくり」のイメージ

集落に居住する人が地域に賦存する資源を活かして、域外の人々と交流するなど、元気を呼び戻していくための取り組み。又は、域外との連携や支援も受けつつ、住み続けていく上での不安を解消するための取り組み。



質問3. 対象集落において、集落支援の取組を行う予定、もしくは既に実施している取組、あるいはアイデア等ありましたらご記入下さい。

	集落支援の取組（アイデア含む）
対象集落① ()	
対象集落② ()	
対象集落③ ()	
対象集落④ ()	
対象集落⑤ ()	

質問4. 対象集落において、集落の存続・再生を図るために再編（行政区の見直し含む）の予定はありますか。（下記項目より該当する1～3の番号に一つ○を付けてください。）
さらに、1又は2を選択された場合は、その具体的な内容をご記入ください。

	既に実施している	実施する予定である	実施する予定はない	1又は2を選択された場合は、その具体的な内容をご記入ください
対象集落① ()	1	2	3	
対象集落② ()	1	2	3	
対象集落③ ()	1	2	3	
対象集落④ ()	1	2	3	
対象集落⑤ ()	1	2	3	

ご協力ありがとうございました。